

# 専用設定ファイル読込による システム環境設定項目の自動設定機能

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2016-10-13	--	--	初版を発行しました。
2020-10-13	--	--	本書の対象に、Windowsアプリを追加しました。
2023-02-21	--	--	以下の項目に サインタブレット設定 を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・設定ファイルによる自動設定が可能な項目</li><li>・設定ファイルの定義</li><li>・設定ファイルのサンプル</li></ul>
2023-09-26	--	--	以下の項目に i-Reporterカメラ を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>・設定ファイルによる自動設定が可能な項目</li><li>・設定ファイルの定義</li><li>・設定ファイルのサンプル</li></ul>
2024-04-17	V5.2.24040	7,12	「サイン入力時にWacomSTU-540を使用する」設定の名称を「サイン入力時にWacomタブレットを使用する」に変更しました。

# 目次

- 概要
- 設定ファイルによる自動設定が可能な項目
- i-Reporter専用の設定ファイル .ircf
- 設定ファイルの定義
- 設定ファイルのサンプル
- 設定ファイルの読み込み前の準備 (iOSのみ)
- 設定ファイルのiOSアプリへの読み込み
- 設定ファイルのWindowsアプリへの読み込み
- システム環境設定項目の自動設定
- 制限事項

# 概要

- i-Reporterアプリの各システム環境設定情報を予めセットした専用の設定ファイルをi-Reporterアプリへ読み込ませる事で、システム環境設定項目を自動でセットすることができます。設定ファイルを各ユーザーへ配布する事で、初期設定の簡略化や、大量の端末の配布においてシステム環境設定の内容を容易に統一させることができます。



# 設定ファイルによる自動設定が可能な項目 (1/3)

- 設定ファイルの読み込みにより自動設定が可能なi-Reporterアプリのシステム環境設定項目は下記のとおりです。

接続先設定 (※複数指定可能)
<ul style="list-style-type: none"><li>接続先名</li><li>接続先URL</li><li>ユーザーID</li><li>パスワード</li><li>ローカル帳票存在時に接続先変更可能</li></ul>
サーバー
<ul style="list-style-type: none"><li>自動ログイン</li><li>オフラインで利用可</li><li>要求タイムアウト</li><li>Proxy設定</li><li>IPアドレス</li><li>ポート</li><li>ユーザー</li><li>パスワード</li><li>100-Continueをサポートする</li><li>AD認証モード</li></ul>

メール・PDF
<ul style="list-style-type: none"><li>画像、PDFのメール送信</li><li>クラッシュレポートメールを送信</li><li>PDFをベクター出力</li></ul>
クラスター
<ul style="list-style-type: none"><li>選択クラスターの枠表示</li><li>GPS 更新間隔</li></ul>
音声入力
<ul style="list-style-type: none"><li>音声入力を使用</li><li>アンサーバック中に音声入力を許可</li><li>声の高さ</li><li>声の早さ</li></ul>
PDF
<ul style="list-style-type: none"><li>フォント</li></ul>
計算結果チェック機能
<ul style="list-style-type: none"><li>計算結果チェック機能を使用する</li></ul>

# 設定ファイルによる自動設定が可能な項目 (2/3)

## 一般

- テスト帳票を表示
- サーバー保存後、編集を継続する
- 帳票定義の保存
- 完了保存時に確認する
- 自動バックアップ機能を使う
- アップロードの確認ダイアログを表示する
- 連続起票機能を使用する
- 横幅ロックで起動する
- 一括アップロード時に確認メッセージを表示する
- ライブラリ初期表示
- 送信済ローカル保管帳票の表示
- 帳票初期表示 クラスタ枠
- ネットワーク線の表示
- はじめから必須入力マークを表示
- ローカル削除確認メッセージ表示
- 各種プリンタ設定
- GS1-128の区切り文字
- Adobeの印刷ダイアログを使用する
- タッチパネル感度
- カメラロール保存先
- アクションクラスタをダブルクリックで実行する
- 連続起票時に帳票コピーする
- 手書きサイン領域最大表示
- 多重起動を許可する
- ソフトウェアキーボードを使用する
- クラスタ編集開始時に位置補正する
- i-Reporterカメラ

# 設定ファイルによる自動設定が可能な項目 (3/3)

## 外部入力機器

- サイン入力時にWacomタブレットを使用する

# i-Reporter専用の設定ファイル .ircf

- 下記のi-Reporter専用の設定ファイルを使用します。

拡張子	.ircf (i-Reporter Configuration File)
データ形式	JSON 連想配列
mimeType	application/x-ircf

- ファイル名称はご自由につけて頂けます。  
(例) SettingFile.ircf



# 設定ファイルの定義 (1/4)

- 設定ファイル内の定義は下記の通りとなります。

項目	項目名称	データ型	条件	備考
Version	バージョン	数値	整数	現状は1固定。機能の仕様変更時に変わります。
Revision	リビジョン	数値	整数	現状は1固定。機能の仕様変更時に変わります。
Server	サーバ設定	連想配列		
AutoLogin	自動ログイン	boolean		
CanUseOffline	オフラインで利用可	boolean		
TimeOut	要求タイムアウト	数値	整数 (1から5)	
UseProxyIsChecked	Proxy設定	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
ProxyIpAddress	IPアドレス	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
ProxyPort	ポート	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
ProxyUserName	ユーザー	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
ProxyPassword	パスワード	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
Support100Continue	100-Continueをサポートする	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
UseAdAuthentication	AD認証モード	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
Servers	接続先設定	配列 (連想配列)	0個以上	1個以上あった場合、既存設定を全上書きし、一つ目の接続先を選択し、ローカルデータを全削除します。
ServerName	接続先名	文字列		
URL	接続先URL	文字列		
UserID	ユーザID	文字列		
Password	パスワード	文字列		
CanChangeWithLocalReports	ローカル帳票存在時に接続先変更可能	Boolean		

※次ページへ続きます

# 設定ファイルの定義 (2/4)

※前ページからの続きです

項目	項目名称	データ型	条件	備考
General	一般設定	連想配列		
ShowTest	テスト帳票を表示	boolean		
ContinueAfterSave	サーバー保存後、編集を継続する	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
DefinitionSave	帳票定義の保存	boolean		
ConfirmSaveCompleted	完了保存時に確認する	boolean		
AutoBackup	自動バックアップ機能を使う	boolean		
ShowConfirmUploadDialog	アップロードの確認ダイアログを表示する	boolean		
ContinuousNewReport	連続起票機能を使用する	boolean		
LaunchKeepingWidth	横幅ロックで起動する	boolean		
ConfirmBulkUpload	一括アップロード時に確認メッセージを表示する	boolean		
InitialLibrary	ライブラリ初期表示	boolean		true:ローカル false:サーバー
ShowSentReports	送信済ローカル保管帳票の表示	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
ShowClusterFrame	帳票初期表示 クラスター枠	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
ShowNetwork	ネットワーク線の表示	boolean		
ShowRequiredMark	はじめから必須入力マークを表示	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
ConfirmLocalDelete	ローカル削除確認メッセージ表示	数値		0常に確認 1一括削除時のみ 2表示しない
Printer	プリンタ種別	文字列		0:プリンタなし 1:PJ-673 iOS版にのみ適用される項目です。
PJ-673Address	PJ-673 の IPアドレス	文字列		iOS版にのみ適用される項目です。
PJ-673Density	PJ-673 の 印刷濃度	数値	0から10	iOS版にのみ適用される項目です。
GS1-128Delimiter	GS1-128 の区切り文字指定方法	数値		0:文字 1:ASCII iOS版にのみ適用される項目です。
GS1-128Letter	GS1-128 の区切り文字	文字列		iOS版にのみ適用される項目です。
AdobeReaderPrint	Adobeの印刷ダイアログを使用する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
TouchPanelSensitivity	タッチパネル感度	数値	0から20	Windows版にのみ適用される項目です。
SaveLocalCameraImagePath	カメラロール保存先	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
DoubleClickOnActionCluster	アクションクラスターをダブルクリックで実行する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
ContinuousNewReportWithCopy	連続起票時に帳票コピーする	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
UseFullScreenSignArea	手書きサイン領域最大表示	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
AllowMultiClient	多重起動を許可する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
UseSoftwareKeyboard	ソフトウェアキーボードを使用する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。

※次ページへ続きます

# 設定ファイルの定義 (3/4)

※前ページからの続きです

項目	項目名称	データ型	条件	備考
MoveInputClusterPosition	クラスター編集開始時に位置補正する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
PvCameraType	i-Reporterカメラ	数値	1, 2, 3のみ有効	1 : 5.2.20071以前のi-Reporterカメラアプリで撮影 2 : i-Reporterカメラアプリで撮影 3 : Windows標準カメラで撮影 Windows版にのみ適用される項目です。

※次ページへ続きます

# 設定ファイルの定義 (4/4)

※前ページからの続きです

項目	項目名称	データ型	条件	備考
Mail	メール・PDF設定	連想配列		
SendMailPDF	画像、PDFのメール送信	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
SendCrashReport	クラッシュレポートメールを送信	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
GeneratePDFWithVector	PDFをベクター出力	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
Clusters	クラスター設定	連想配列		
SelectedClusterFrame	選択クラスターの枠表示	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
GpsDistanceFilter	GPSの更新間隔	数値	10, 100, 1000のみ有効	iOS版にのみ適用される項目です。
UsingVoiceInput	音声入力設定	連想配列		
UsingVoiceInput	音声入力を使用	boolean		
PermissionVoiceInputWhileAnswerBack	アンサーバック中に音声入力を許可	boolean		
UtterancePitch	声の高さ	数値	0.0から1.0	
UtteranceRate	声の早さ	数値	0.0から1.0	
OutputSpeaker	iPhoneの場合、スピーカーから音声を 出すか。	boolean		iOS版にのみ適用される項目です。
PDF	PDF設定	連想配列		
PdfOutputFont	フォント	文字列		Windows版にのみ適用される項目です。
CalculateCheck	計算結果チェック機能設定	boolean		
CalculateCheck	計算結果チェック機能を使用する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。
ExternalDevice	外部入力機器			
SignatureTablet	サインタブレット設定			Windows版にのみ適用される項目です。
UseSignatureTablet	サイン入力時にWacomタブレットを 使用する	boolean		Windows版にのみ適用される項目です。

設定ファイルの定義は以上となります。

# 設定ファイルのサンプル (1/2)

こちらをコピーして頂きテンプレートとして使用頂けます。

```
{
  "Version": 1,
  "Revision": 1,
  "Server": {
    "AutoLogin": true,
    "CanUseOffline": true,
    "TimeOut": 5,
    "Servers": [
      {
        "ServerName": "CIMTOPS",
        "URL": "https://ircl-sup001kcy.conmas-i-reporter.com/ConMasWebTEST/Rests/ConMasIReporter.aspx",
        "UserID": "user01",
        "Password": "p01",
        "CanChangeWithLocalReports": true
      },
      {
        "ServerName": "CIMTOPS2",
        "URL": "https://ircl-sup001kcy.conmas-i-reporter.com/ConMasWebTEST2/Rests/ConMasIReporter.aspx",
        "UserID": "user02",
        "Password": "p02",
        "CanChangeWithLocalReports": true
      }
    ],
    "UseProxyIsChecked": false,
    "ProxyIpAddress": "111.222.333.444",
    "ProxyPort": "555",
    "ProxyUserName": "proxyuser",
    "ProxyPassword": "proxypass",
    "Support100Continue": true,
    "UseAdAuthentication": false
  },
  "Mail": {
    "SendMailPDF": true,
    "SendCrashReport": true,
    "GeneratePDFWithVector": true
  },
  "Clusters": {
    "SelectedClusterFrame": true,
    "GpsDistanceFilter": 100
  },
  "Pdf": {
    "PdfOutputFont": "Font Name"
  },
  "CalculateCheck": {
    "CalculateCheck": false
  },
  "UsingVoiceInput": {
    "UsingVoiceInput": true,
    "PermissionVoiceInputWhileAnswerBack": true,
    "UtterancePitch": 1,
    "UtteranceRate": 1,
    "OutputSpeaker": true
  }
},
```

※次ページへ続きます

# 設定ファイルのサンプル (2/2)

※前ページからの続きです

```
"General": {
    "ShowTest": true,
    "ContinueAfterSave": true,
    "DefinitionSave": true,
    "ConfirmSaveCompleted": true,
    "AutoBackup": true,
    "ShowConfirmUploadDialog": true,
    "ContinuousNewReport": true,
    "LaunchKeepingWidth": true,
    "ConfirmBulkUpload": true,
    "InitialLibrary": true,
    "ShowSentReports": true,
    "ShowClusterFrame": true,
    "ShowNetwork": true,
    "ShowRequiredMark": true,
    "ConfirmLocalDelete": 2,
    "Printer": 0,
    "PJ 673Address": "192.168.1.1",
    "PJ 673Density": 5,
    "GS1 128Delimiter": 0,
    "GS1 128Letter": ",",
    "AdobeReaderPrint": true,
    "TouchPanelSensitivity": 20,
    "SaveLocalCameraImagePath": "",
    "DoubleClickOnActionCluster": true,
    "ContinuousNewReportWithCopy": true,
    "UseFullScreenSignArea": true,
    "AllowMultiClient": true,
    "UseSoftwareKeyboard": true,
    "PvCameraType": 1
},
"ExternalDevice": {
    "SignatureTablet": {
        "UseSignatureTablet": true
    }
}
}
```

設定ファイルのサンプルは以上となります。

# 設定ファイルの読み込み前の準備（iOSのみ）

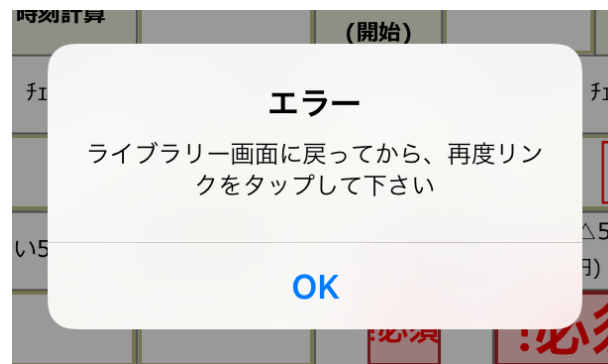
## • アプリを起動しライブラリー画面のトップを表示しておきます。

- i-Reporterアプリの**初回インストール時**は、アプリを起動していなくても、インストール後に、そのまま設定ファイルの読み込みを行って頂けます。
- i-Reporterアプリを既に使用中の端末の場合は、念のためアプリを起動し、ライブラリー画面のトップを表示させた状態にしておいて下さい。
- i-Reporterアプリのライブラリー画面トップ以外を表示した状態で設定ファイル読み込みを行うと下記の様なエラーとなり、設定反映は行われませんのでご注意ください。

i-Reporterアプリのライブラリー画面トップ



ライブラリー画面トップを表示していなかった場合のエラー



# 設定ファイルのiOSアプリへの読み込み

## ● 設定ファイルをi-Reporterで開き、読み込ませます。

- 作成した設定ファイルを、メール添付や、HP上に公開する等して、各ユーザーがiOS端末から設定ファイルをタップできる様にしておきます。設定ファイルの公開方法にも寄りますが、基本的には設定ファイルをタップすると「i-Reporterで開く」を、選択するメニューが表示されますので、i-Reporterで開いて下さい。

例えば、設定ファイルを添付して  
各ユーザーへメールを一斉送信



i-Reporterで開く



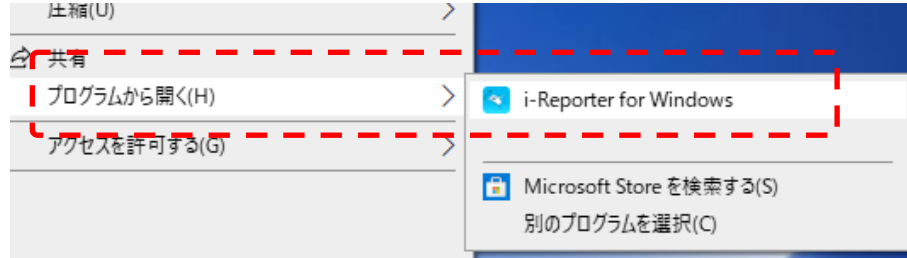


# 設定ファイルのWindowsアプリへの読み込み (1/2)

- **設定ファイルをi-Reporterで開き、読み込ませます。**

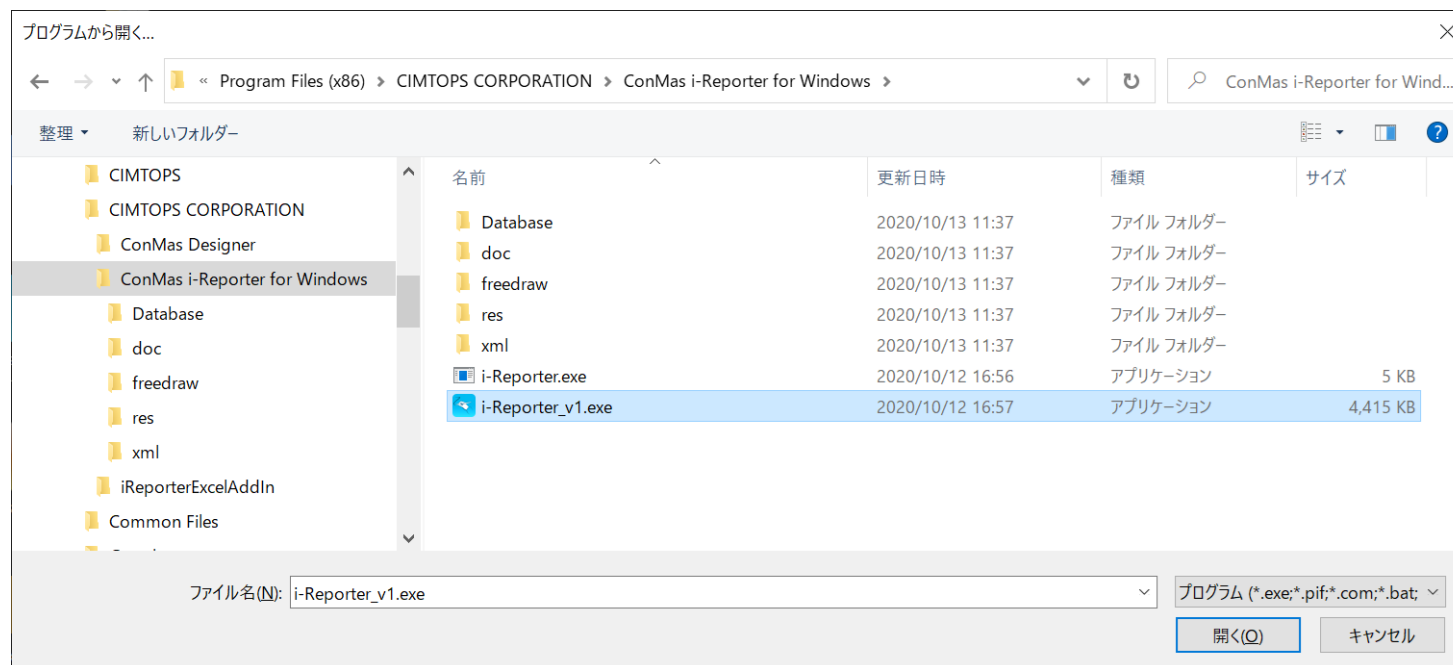
1. 作成した設定ファイルを右クリックし、コンテキストメニューの[プログラムから開く]から[ConMas i-Reporter for Windows]をクリックし、ConMas i-Reporter for Windowsを起動してください。

※[プログラムから開く]に[ConMas i-Reporter for Windows]が無い場合、次ページの手順にて読み込ませることが可能です。



# 設定ファイルのWindowsアプリへの読み込み (2/2)

- [プログラムから開く]から[ConMas i-Reporter for Windows]が無い場合
  1. 作成した設定ファイルを右クリックし、コンテキストメニューの[プログラムから開く]から[別のプログラムを選択]をクリックします。
  2. [このファイルを開く方法を選んでください。]画面の[その他のアプリ↓]をクリックし、[このPCで別のアプリを探す]をクリックします。
  3. [プログラムから開く...]画面にて、ConMas i-Reporter for Windowsのインストールフォルダを開きます。  
例 : C:\Program Files (x86)\CIMTOPS CORPORATION\ConMas i-Reporter for Windows
  4. 「i-Reporter\_v1.exe」を選択し、[開く]ボタンをクリックします。



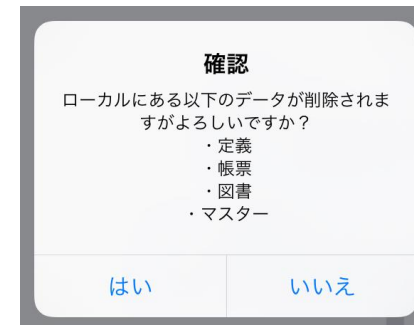
# システム環境設定項目の自動設定

- **自動でi-Reporterアプリに切り替わり、各設定項目にセットされます。**
  - 設定ファイルをi-Reporterで開くと、自動でi-Reporterアプリに切り替わり、設定ファイルの反映完了メッセージが表示されます。これにて設定ファイルの反映は完了です。
  - サーバー接続先の設定を反映する場合は、ローカルデータの削除を行うかどうかの確認メッセージが表示されますので、宜しければ「はい」を選択して下さい。その後、設定ファイルの反映が実行されます。（「いいえ」を選択した場合は設定ファイルの反映を中止します）

設定ファイルの反映が完了



サーバー接続先の設定反映の際の  
ローカルデータ削除確認ダイアログ



# 制限事項

- 設定ファイルに誤ったデータ型や範囲外の数値を指定した場合、予測できない値が設定されたり、iOS版とWindows版とで異なる値が設定されることがあります。
- 設定ファイルのパラメータにマルチバイト文字（ひらがな、カタカナ、漢字など）を含む場合は、ファイルの文字コードをUTF-8にしてください。